

令和6年2月27日

一般社団法人大阪府ペストコントロール協会  
令和5年（2023年度）事業報告  
令和5年1月1日～12月31日

## I. 概要

本年度は、令和2年1月から現在に至ってもなお新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていますが、現在は緊急事態宣言も解除、経済活動を優先とし令和5年5月8日から5類感染症へ位置づけられ飲食店やイベント等の規制が無くなり、流行を意識しにくくなっています。

円安から、海外からの旅行者の増加もあり、今後も海外からの様々な感染症の流入が懸念されますので、協会としては引き続き感染症媒介生物等に警戒を続けたいところです。

また、令和3年7月大阪港にてヒアリが確認されて以降、関係機関による調査依頼が続いていることから、ヒアリ調査隊を編成し対応いたしました。

今後も、有事の際はこれまで培ってきた環境衛生に関する防除技術・知識を活かし、各行政機関・関係団体と連携した活動に取り組んで参ります。

害虫相談事業は、府民より寄せられた件数は1月1日～12月31日まで計4151件、昨年の4133件より18件増加しました。（節足動物以外が占める割合は相談件数全体の40%）

イタチは昨年より89件増の525件、ネズミは58件減で308件でした。トコシラミは129件増の326件でした。ハチは165件減で合計1809件。シロアリは15件増の137件でした。ハトは13件増の192件でした。

委託事業につきましては、各地感染症媒介蚊のサーベイランス業務を例年通りの調査数（7～8回）にて実施いたしました。その他ハチ駆除業務、アライグマの運搬業務も例年通り受託いたしました。国立感染症研究所よりご依頼のあったセアカゴケグモ採取では、皆様のご協力により、目標数5000頭を上回る6380頭を納品することができました。

講習会事業につきましては、厚生労働省から登録を受けた防除作業監督者講習会はオンライン講習会と会場開催を実施、防除作業従事者研修会は会場開催にて実施いたしました。

9月には、感染症対応出動隊研修会として枚方市との感染症媒介蚊採取と同定業務委託契約に基づき、8分間人囮法による媒介蚊採取と同定方法について座学並びに実地演習を行いました。協会事業参加の必須条件としての委託業務研修会の開催も例年通り行われ、多数ご参加いただきました。

2025年大阪・関西万博事業については、これまで大阪府ビルメンテナンス協会様にご協力頂きながら、会場内の防除や事前調査の必要性等についてPRを続けて参りましたが、今年7月に万博運営参加の募集が開始され、是非参加をしたかった所ですが、会場の事前調査から会期中の防除も全て含めて無償提供とされていたため、残念ながら断念いたしました。

以上